**殺虫剤**

# ベストガード®粒剤

ニテンピラム…… 1.0%

種類名／ニテンピラム粒剤
農林水産省登録／第19103号（住友化学登録）
毒性／普通物*
有効年限／4年
包装／3kg×6

## 特　長

- ユニークな作用を持つベストガードは優れた浸透移行性と効果の持続性により、定植時植穴処理（野菜）・生育期株元散布（ねぎ・花き）・育苗期後半株元処理（なす・レタス）により野菜・花き類の吸汁性害虫の省力防除が可能です。
- 従来の神経系殺虫剤（有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤等）に感受性の低下した害虫にも高い効果を示します。また、難防除害虫マメハモグリバエの初期密度も抑制できます。
- 野菜・花き類の重要害虫アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類等を、定植時植穴処理、育苗期後半株元処理、生育期株元処理にて長期間防除します。
- 吸汁性害虫防除と同時にマメハモグリバエの密度抑制効果が認められます。
- 処理薬量が少なく経済的です。
- 水溶剤との体系防除により効率的防除が可能です。

## 適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| ばれいしょ | アブラムシ類 | 3kg/10a | 植付時 | 本剤　1回<br>ニテンピラム剤　5回<br>［植付時までの処理は1回、植付後は4回］ | 植溝処理<br>土壌混和 |
| きゅうり | コナジラミ類<br>アブラムシ類<br>アザミウマ類 | 5ｇ/培土ℓ | は種時 | 本剤　1回<br>ニテンピラム剤　4回<br>［定植時までの処理は1回、定植後は3回］ | 育苗培土混和 |
| | | | 鉢上げ時 | | |
| | コナジラミ類<br>アブラムシ類 | 1ｇ/株 | 育苗期 | | 株元処理 |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類<br>アザミウマ類 | 1～2ｇ/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| カリフラワー | アブラムシ類<br>アザミウマ類 | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | 育苗期後半 | 本剤　1回<br>ニテンピラム剤　5回<br>［育苗期は1回、定植時は1回、定植後は3回］ | 散布 |
| | アブラムシ類 | 1ｇ/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| ブロッコリー | アブラムシ類<br>アザミウマ類 | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | 育苗期後半 | | 散布 |
| | | 1ｇ/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| すいか<br>メロン | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | 1g/株 | 育苗期 | 本剤　1回<br>ニテンピラム剤　4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 株元処理 |
| | アブラムシ類<br>アザミウマ類<br>コナジラミ類 | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| なす | アブラムシ類 | 5g/培土ℓ | は種時又は鉢上げ時 | | 育苗培土混和 |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | 1g/株 | 育苗期 | | 株元処理 |
| | | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | 育苗期後半 | | 散布 |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類<br>アザミウマ類 | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | アブラムシ類 | 2g/株 | 収穫前日まで | 本剤　3回<br>ニテンピラム剤　4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 生育期<br>株元散布 |
| トマト<br>ミニトマト | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | 5g/培土ℓ | は種時又は鉢上げ時 | 本剤　1回<br>ニテンピラム剤　4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 育苗培土混和 |
| | | 1～2g/株 | 育苗期 | | 株元処理 |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類<br>ハモグリバエ類 | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | 育苗期後半 | | 散布 |
| | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| | ハモグリバエ類 | 2g/株 | | | |
| ピーマン | アブラムシ類<br>ミナミキイロアザミウマ<br>コナジラミ類 | 1～2g/株 | | | |
| ししとう | アブラムシ類<br>コナジラミ類 | 1g/株 | 育苗期 | | 株元処理 |
| とうがらし類（ししとうを除く） | アブラムシ類<br>ミナミキイロアザミウマ | 1～2g/株 | 定植時 | | 植穴処理<br>土壌混和 |
| いちご | アブラムシ類 | 1g/株 | | 本剤　1回<br>ニテンピラム剤　4回<br>[定植時の土壌混和は1回、株元散布及び散布は合計3回] | |
| | クロバネキノコバエ類 | 1～2g/株 | 収穫前日まで | 本剤　3回<br>ニテンピラム剤　4回<br>[定植時の土壌混和は1回、株元散布及び散布は合計3回] | 株元散布 |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| ねぎ | アザミウマ類 | 6kg/10a | は種時 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 作条処理<br>土壌混和 |
| | | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm・使用土壌約3～4ℓ）当り50g | 育苗期後半～定植当日 | | 散布 |
| | クロバネキノコバエ類<br>ハモグリバエ類 | 6kg/10a | 定植時 | | 植溝処理<br>土壌混和 |
| | アザミウマ類 | | 収穫前日まで | 本剤 3回<br>ニテンピラム剤 4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 株元処理 |
| | ハモグリバエ類 | | | | |
| | アザミウマ類 | 5g/培土ℓ | は種時 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 育苗培土混和 |
| わけぎ<br>あさつき | ハモグリバエ類 | 6kg/10a | 定植時 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 1回 | 植溝処理<br>土壌混和 |
| しゅんぎく | アブラムシ類<br>コナジラミ類<br>ハモグリバエ類 | 9kg/10a | | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 2回<br>[定植時の土壌混和は1回、株元処理は1回] | |
| | | | 収穫3日前まで | | 生育期<br>株元処理 |
| レタス | ナモグリバエ | 10g/培土ℓ | は種時 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 4回<br>[定植時までの処理は1回、定植後は3回] | 育苗培土混和 |
| | | 0.5～1g/株 | 育苗期後半 | | 株元処理 |
| | アブラムシ類 | セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り50g | | | 散布 |
| 食用ぎく | アブラムシ類<br>ミカンキイロアザミウマ<br>マメハモグリバエ | 2g/株 | 収穫前日まで | 本剤 2回<br>ニテンピラム剤 4回<br>[株元散布は2回、散布は2回] | 生育期<br>株元散布 |
| すいぜんじな | アブラムシ類<br>ハモグリバエ類<br>アザミウマ類 | 9kg/10a | 定植時 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 2回<br>[定植時の土壌混和は1回、株元処理は1回] | 植溝処理<br>土壌混和 |
| | | | 収穫3日前まで | | 生育期<br>株元処理 |
| ズッキーニ | アザミウマ類 | 1～2g/株 | 定植時 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 1回 | 植穴処理<br>土壌混和 |
| うり類(漬物用) | アブラムシ類 | | | | |
| きく | ミカンキイロアザミウマ<br>マメハモグリバエ | 2g/株 | 発生初期 | 本剤 4回<br>ニテンピラム剤 4回 | 生育期<br>株元散布 |
| | アブラムシ類 | 1～2g/株 | | | |

（つづく）

| 作物名 | 適用害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| きんせんか | マメハモグリバエ | 2g/株 | 発生初期 | 本剤 4回<br>ニテンピラム剤 4回 | 生育期<br>株元散布 |
| | アブラムシ類 | 1～2g/株 | | | |
| 花き類・観葉植物（きく、きんせんかを除く） | | 3～5g/培土ℓ | 定植前 | 本剤 1回<br>ニテンピラム剤 4回 | 培土混和 |
| | | 1～2g/株 | 発生初期 | 本剤 4回<br>ニテンピラム剤 4回 | 生育期<br>株元散布 |

## 使用にあたって

**■使用上の注意**

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- カラーおよび花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
- マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

**■蚕　毒**

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

**■水産動植物への注意**

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。

**■安全使用上の注意**

- 散布の際は農薬用マスクなどを着用して、作業後はうがいをしてください。

**■貯蔵上の注意**

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年9月9日現在の登録内容に基づいています。